

2025 #つなげプロジェクトオレンジ* in 徳島文理大学高松駅キャンパス

映画「みんな生きている～二つ目の誕生日～」上映・主演俳優トークイベント

骨髓移植には患者とドナーの白血球型の適合が必要で、その確率は数百から数万分の一。
適合しても、ドナーの都合や健康状態により、移植ができるのは約6割の患者だけ。
骨髓バンクドナーや骨髓移植について正しい知識を深めるために
「2025 #つなげプロジェクトオレンジ」として、映画上映とパネルトークを開催します。

◆日 時◆ 2025年11月22日（土曜日） 13:00～16:15

◆場 所◆ 徳島文理大学高松駅キャンパス ムラサキキネンホール
香川県高松市浜町8-53

◆対象者◆ 徳島文理大学学生、一般参加300人

◆スケジュール◆

| | |
|--------|-----------------|
| 12:30～ | 開場 |
| 13:00～ | 主催者挨拶 |
| 13:10～ | オープニングアクト |
| 13:20～ | 映画上映 |
| 15:25～ | パネルトーク |
| 16:10～ | 集合写真撮影・閉会 |
| 16:15～ | ドナー登録説明会（希望者のみ） |



©2022「みんな生きている～二つ目の誕生日～」製作プロジェクト

◆特別ゲスト（オープニングアクト・パネルトーク）◆



樋口 大悟さん

（「みんな生きている～二つ目の誕生日～」を企画・原案・主演）
樋口大悟さんは、アクション俳優を目指していた25歳の時に急性骨髓性白血病と診断され、死を覚悟するほどの苦しい闘病生活を経験し、30歳の時にドナーが見つかり骨髓移植によって命を救われました。自らの経験をもとに「ひとつでも多くの命が助かってほしい」という想いを伝えるために、映画「みんな生きている～二つ目の誕生日～」を企画・原案・主演。

◆パネルトーク出演者◆ (五十音順)

大西礼華さん（大学生・ドナー登録説明員（ボランティア））

薬学部で学びながら、骨髓バンクのドナー登録説明員として活動。特に若い世代や医療系学生の間で骨髓バンクへの関心を広めることを目指し、啓発活動に力を入れています。説明員も若手が少ない現状を踏まえ、まずは関心を持つ仲間を増やしたいという想いで活動しています。

大西宏明さん（血液内科医師・高松赤十字病院副院長）

同種造血細胞移植（骨髓移植、さい帯血移植など）の専門医として、白血病など血液疾患患者の治療・支援に長年携わる。移植医療の現場から、造血細胞移植の意義や現状について語ります。

※「#つなげプロジェクトオレンジ」は、（公財）日本骨髓バンクが中心となり、白血病などの血液疾患により骨髓移植など必要としている患者さんのため、骨髓バンクやドナーへの理解や支援を広げていく活動